



# かわどおり

「人」を大切にす川通小学校

令和8年 2月 27日

さいたま市立川通小学校

発行人 校長 葉抱 敬介

◆思いやりのある子 ◆自ら学ぶ子 ◆たくましい子

Tel 799-1060

E-mail:kawadoori-e@saitama-city.ed.jp

Fax 799-0424

## 継続と仲間、そして新たな一歩へ ～ミラノ・コルティナ冬季五輪を終えて～

校長 葉抱 敬介

校庭のサクラやコブシのつぼみもだいぶ膨らんできました。埼玉県では「春一番」が吹き、春の足音が一層近づいてきたと感じます。

さて、世界が冬のスポーツに心を寄せたこの季節、冬季オリンピックでは多くの選手が自分の力を信じて挑戦し続ける姿を見せてくれました。私も毎日早起きして、テレビの前で選手の活躍に心を動かされました。今大会で活躍した選手のコメントをもとに、川通小学校の1年間を振り返ってみましょう。

スピードスケートの高木美帆選手は、「努力はすぐに実らなくても、続けることで前に進める」と話していました。川通小学校では、毎日の学びや生活の中で、思うようにいかないことに向き合いながら、少しずつ前へ進もうとする姿がたくさん見られました。その一つひとつが、子どもたちの確かな成長につながっています。



フィギュアスケートペアの個人戦で金メダルを獲得した「りくりゅうペア」こと三浦璃来選手と木原龍一選手が見せてくれた演技も、とても印象的でした。二人が「相手を信じることで、自分の力以上のものが出せる」と語っていたように、信頼し合う気持ちは大きな力になります。運動会や音楽会などの行事での協力や日々、友達のがんばりを認めたり、困っている友達にそっと手を差し伸べたりする姿が、学校のあちこちで見られました。そうした関わりの積み重ねが、子どもたちの心を豊かに育ててくれたように感じます。

フィギュアスケートで銀メダルを獲得した鍵山優真選手や同じく銀メダリストの坂本花織選手は、「仲間の存在が自分を支えてくれた」と話していました。子どもたちにとっても仲間は大切な存在です。誰かの成功と一緒に喜び、うまくいかないときには励まし合う。そんな温かな関係が、今年度の川通小学校にはたくさんありました。



今大会、けがを押しながらも出場したスノーボードの平野歩夢選手は、「一歩を踏み出す勇気がすべての始まり」と話していました。まもなく進級するみなさんには、この一年で身につけた力を生かしながら、また新しい挑戦に向かって歩いてほしいと願っています。卒業する6年生の皆さんには、川通小で育んだ優しさやたくましさを胸に、自分の未来へ向かって大きく羽ばたいてほしいと思います。みなさんのこれからの道が、明るく豊かなものになることを心から願っています。

今年度も、地域の皆様、保護者の皆様には、学校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました。運動会や音楽会など行事へのご参加や日々の見守りなど、学校の教育活動に参画していただいたことが、子どもたちのよりよい成長につながったものと心より感謝申し上げます。来年度も地域のみなさまとともに歩みながら、「もっと愛される学校」「もっと応援したくなる学校」を目指してまいります。

インクルーシブ教育システムの構築を目指す川通小は、学校だよりの字体(フォント)をUD(ユニバーサルデザイン)書体にします。

# 3月の生活目標

「お世話になった学校を  
きれいにします」

・教室 ・体育館 ・校庭

## 3月の行事予定

|                         |   |   |
|-------------------------|---|---|
| 1                       | 日 | さいたま市未来くる FM 放送局 12:30 頃                      |
| 2                       | 月 | 一斉下校(通学班引継ぎ式)                                 |
| 3                       | 火 | お話・生活朝会 川中あいさつ運動<br>授業参観・懇談会(123年なのはな)        |
| 4                       | 水 | 防犯ボランティア連絡会議                                  |
| 5                       | 木 | G・Sタイム なかよし給食・たてわり活動<br>クラブ(最終)               |
| 6                       | 金 |   |
| 7                       | 土 |   |
| 8                       | 日 |   |
| 9                       | 月 | SC・SSW  |
| 10                      | 火 | 安全点検日   |
| 11                      | 水 |   |
| 12                      | 木 | 456年6時間授業                                     |
| 13                      | 金 | 教育相談日 新タブレット使用開始日                             |
| 14                      | 土 |   |
| 15                      | 日 |   |
| 16                      | 月 | 大掃除週間 SSW                                     |
| 17                      | 火 | 表彰朝会  |
| 18                      | 水 |   |
| 19                      | 木 | 給食終了 卒業式予行<br>4時間授業(13:20下校)                  |
| 20                      | 金 | 春分の日  |
| 21                      | 土 |   |
| 22                      | 日 |   |
| 23                      | 月 | 特日4時間(11:45下校) お別れ式 SC                        |
| 24                      | 火 | 卒業証書授与式<br>(5年11:05下校、6年11:30下校)<br>1~4年臨時休業日 |
| 25                      | 水 | 特日4時間(11:45下校)                                |
| 26                      | 木 | 特日3時間(11:00下校) 修了式<br>一斉下校                    |
| 3月27日(金)~4月7日(火) 春休み    |   |   |
| 4月8日(火) 令和8年度1学期始業式、入学式 |   |   |

## クラブ見学(3・4年生)

2月19日(木)に、クラブ見学を実施しました。来年度のクラブ活動を定めるため、楽しい体験も交えた見学を行っていました。特に3年生は、初めてのクラブ活動に心を躍らせながら、積極的に質問をするなど、意欲的に取り組んでいました。4月からの活動が楽しみです。

## ひなまつり

今年度も、PTAの学年委員の方が図書室にひな飾りを飾ってくださいました。子どもたちもその美しさに感嘆の声をあげていました。



## 一斉下校・班長引継ぎ式

3月2日(月)に、通学班長引継ぎ式を行います。各地区の通学班で変更がある場合もありますので、お子さんと新しい班について確認しておいてください。4日より新しい班で登校し、6年生には後ろから見守ってもらいます。

来年度も子どもたちの見守り(旗振り、パトロール等)をよろしくお願いいたします。

## 令和7年度 第140回卒業証書授与式

3月24日(火)9時35分より体育館にて、令和7年度第140回卒業証書授与式を挙行いたします。今年度の卒業生は15名です。

今年度も卒業生、保護者、在校生代表として5年生、学校職員、学校運営協議会委員等で行います。

また、1~4年生は臨時休業日となります。式を行っておりますので、校庭遊び等はお遠慮ください。

年度末、新年度当初にかけて、転出等がございましたら、分かり次第、担任にご連絡ください。

## 第3回学校運営協議会（2月5日開催）報告

2月4日（水）に「第3回学校運営協議会」が行われました。今回は11月に行った「学校評価」の結果報告、「学校自己評価シート」に関する取組状況の確認、令和8年度の学校経営方針等について学校から報告・提案し、委員のみならずご意見・仮承認をいただきました。また、今年度の重点である「学校から地域へ、地域から学校へ」をテーマに、それぞれの立場でできることについても熟議を行いました。

### <学校評価>

- 複数の教員が授業を担当することで多角的な視点から児童を見守ることができ、担任以外の教員にも相談しやすい環境づくりにつながる。
- 小学生のうちに家庭での自立的な学習習慣を確立することができれば、中学生以降の学びを深めるための土台となる。
- ノート等のやりとりが教員と児童の信頼関係の構築にも寄与すると考える。
- 児童が家庭で学習する際に「自由な学習」は戸惑う児童も多いため、まずは、学校側が具体的なテーマや指針を提示し、学びのきっかけを支える必要がある。

### <熟議>

- デジタル化が進むと宿題もデジタル化するのだろうか？放課後児童クラブ内でも対応やタブレットの破損の補償について話題になっている。また、宿題の意図や授業の進捗状況を可視化するため、学級だよりで一言補足を添えるなど、保護者が家庭での学習支援をよりスムーズに行えるような情報共有の工夫を検討していきたい。
- 学びの質の向上について、デジタルも良い面はあるが、AIの使い方などについて子どもたちに指導していく必要がある。家庭学習では端末で代替できない「〇をもらう喜び」や「心の交流」を重視することも大切。子どもの励みとなる温かな関わりを守るため、アナログの良さを活かした宿題のあり方を模索していく必要がある。
- 学区が広く、児童が徒歩で通学するのが大変な地域がある。また、児童数も減少しており、通学班に低学年が多く、高学年がいない班も出てきている。児童の安全な通学が心配である。スクールバスの配置などの対応を要望するため、学校運営協議会意見で意見書を出したい。

今年度も学校運営協議会委員、防犯ボランティア、交通安全協会、PTA、民生委員・児童委員等、多くの方々のおかげで、安心、安全な学校運営を行うことができました。教職員一同、感謝申し上げます。

令和8年度につきましても、変わらぬお力添えをいただければ幸いです。ありがとうございました。